

きのこ採り遭難防止

～きのこ採り 一人で出かけず グループで～

平成30年中におけるきのこ採り等の山菜採り遭難件数は8件、遭難者は8人となっています。このうち65歳以上の遭難者は6人であり、高齢者による、しかも単独によるきのこ採り遭難が増えております。

普段通り慣れた山でも、迷うことがあります。十分に気をつけて茸採りをしてください。

**”自分に限って”という油断は禁物です！
安全はあなたの心構えから！！**

安全で、楽しくきのこ採りを行うために次の点に注意しましょう。

入山者の皆さんへ

◎ きのこ採りに行くときの注意

- 一人で山には入らないで、家族又は知人に行き先を告げましょう。
- 同行者と声をかけ合い、お互いの居場所を確認して行動しましょう。
- 天気予報・気象情報を確認してから出かけましょう。
- 知らない山には入らないようにしましょう。
- 方向を見失わないようにしましょう。
- 自分の体力、体調にあった行動をとりましょう。
- 日没が早くなるので無理をせず、明るいうちに下山しましょう。
- 入山届を警察署や市町村に届出しましょう。
※ 警察本部・各警察署のホームページに入山届の様式が載っています。
- 熊との遭遇による遭難事故が予想されます。目撃された地域への入山は控えましょう。

◎ 装備品の注意

- 食糧、雨具、着替え、ライター、ナイフ、熊鈴、ラジオ、笛を持ちましょう。
- 携帯電話を持ちましょう。（電波の届く場所を確認しておきましょう）
- 服装、所持品は目立つ色にしましょう。（白色のタオル等）

★ もし、迷ってしまったら

- ・ 転落の危険がありますので、むやみに歩き回らないようにしましょう。
- ・ 携帯電話から110番通報しましょう。
- ・ 雨風を防げる場所で救助を待ちましょう。
- ・ 明るくなったら見通しの良い場所に出て、救助を待ちましょう。

【万が一遭難した場合】

捜索のヘリコプターを見つけたら、見通しの良い場所へ移動して、着衣・雨具・白いタオル等を振って居場所を知らせましょう。また、「〇〇さんですか」と呼びかけられたら、両手で円を描き、大きな動作で答えましょう。

(上空から見て最も目立つ色は、**白**色です)

